

# 小規模企業景気動向調査

[平成30年10月期調査]

## ～消費税増税を見据え、停滞期感が漂う小規模企業景況～

2019年1月16日  
全国商工会連合会

### <調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年10月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

### <産業全体> ◇…消費税増税を見据え、停滞期感が漂う小規模企業景況…◇

10月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)を除く3DIで改善が見られた。10月中旬に安倍首相が来年10月に消費税率を予定通り8%から10%へ引き上げると表明したことを受け、今まで設備投資時期について悩んでいた企業からの問い合わせや相談が増えたとのコメントがあった。また、自然災害の面では台風24号の直接被害に加え停電や塩害の影響が大きく、経済面では円安ドル高による原油を中心とした価格高騰等の影響もあり、停滞期に入りつつある。

### <製造業> ◇…一転回復も、人手不足や原材料高が足かせとなっている製造業…◇

製造業は先月から一転、全項目が改善となった。特に売上額DIと資金繰りDIが小幅に改善した。機械・金属関係は受注が好調であり、来年10月の消費税の軽減税率対応に伴うレジの入替需要に伴い、部品メーカーでも受注が増えてきているとの声もあった。繊維関係では来年の成人式、卒業式・卒園式、入学式・入社式まで続く縫製品需要増に向け体制を整えているとの声が聞かれた。一方で、慢性化しつつある人手不足や原油価格の上昇による食料品関連の包装資材の高騰や夏から続く乳製品の購入規制の影響から、利益を圧迫されているとのコメントが見られた。

### <建設業> ◇…年末向け・災害復旧工事で好調も、人手不足等の影響で陰りが見える建設業…◇

建設業は業況DIこそ若干の悪化となったが、それ以外は改善となり、売上額DIと資金繰りDIは小幅、採算DIではわずかに改善した。年末に向けた繁忙期であるのに加え、消費税増税前の駆け込み需要、オリンピック関連工事、台風や地震からの復旧工事等、工事需要は官公需・民需とも活発であり、繁忙を極めている。一方で、全国的な人手不足の影響が深刻で工事を断っているというコメントも見られた。建設機械でも自動運転技術等の技術導入されつつあるが、機械が複雑で修理が内製化できずに却って手間がかかるとの声もあった。

### <小売業> ◇…売上・採算・資金繰りが改善するも、消費税増税が業況に影を落とす小売業…◇

小売業は業況DIがわずかに悪化したものの、他方、採算DIは小幅に改善した。秋の行楽シーズンや季節の変わり目の衣料需要など明るい話題もあるが、今月は先月より悪化を示すコメントが目立った。特に、消費税増税について悲観的に捉えるコメントが目立った。また、度重なる災害により消費者に買い控えの傾向が出てきていることに加え、葉物野菜を中心に収穫減や魚介類の不漁による高値推移なども需要の低迷に拍車をかけている。

### <サービス業> ◇…業況こそわずかに改善するも、夏の自然災害の影響が続くサービス業…◇

サービス業は業況こそわずかに改善したが、それ以外の採算DIと資金繰りDIは小幅に悪化した。災害が多く発生したため対応する保険の加入が多いというコメントや比較的穏やかな気候であったことから、地域によっては、夏の天候不順の落ち込みが昨年を上回る程度に回復しつつあるとの報告があった。一方で、豪雨や地震で直接被害を受けた地域では、復旧後も客足の回復には至っていないとの声や、理美容業では、原材料高により、シャンプー等の資材が高騰し利益が圧迫されているとの声が聞かれた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲ 12.5	▲ 10.9	1.6	▲ 7.6	▲ 4.2	3.4	1.9	5.0	3.1
採算	▲ 15.7	▲ 15.0	0.7	▲ 14.8	▲ 13.1	1.7	▲ 6.4	▲ 5.9	0.5
資金繰り	▲ 11.7	▲ 10.9	0.8	▲ 10.4	▲ 7.1	3.3	▲ 7.9	▲ 5.2	2.7
業況	▲ 14.1	▲ 14.1	0.0	▲ 12.0	▲ 10.4	1.6	2.0	0.4	▲ 1.6

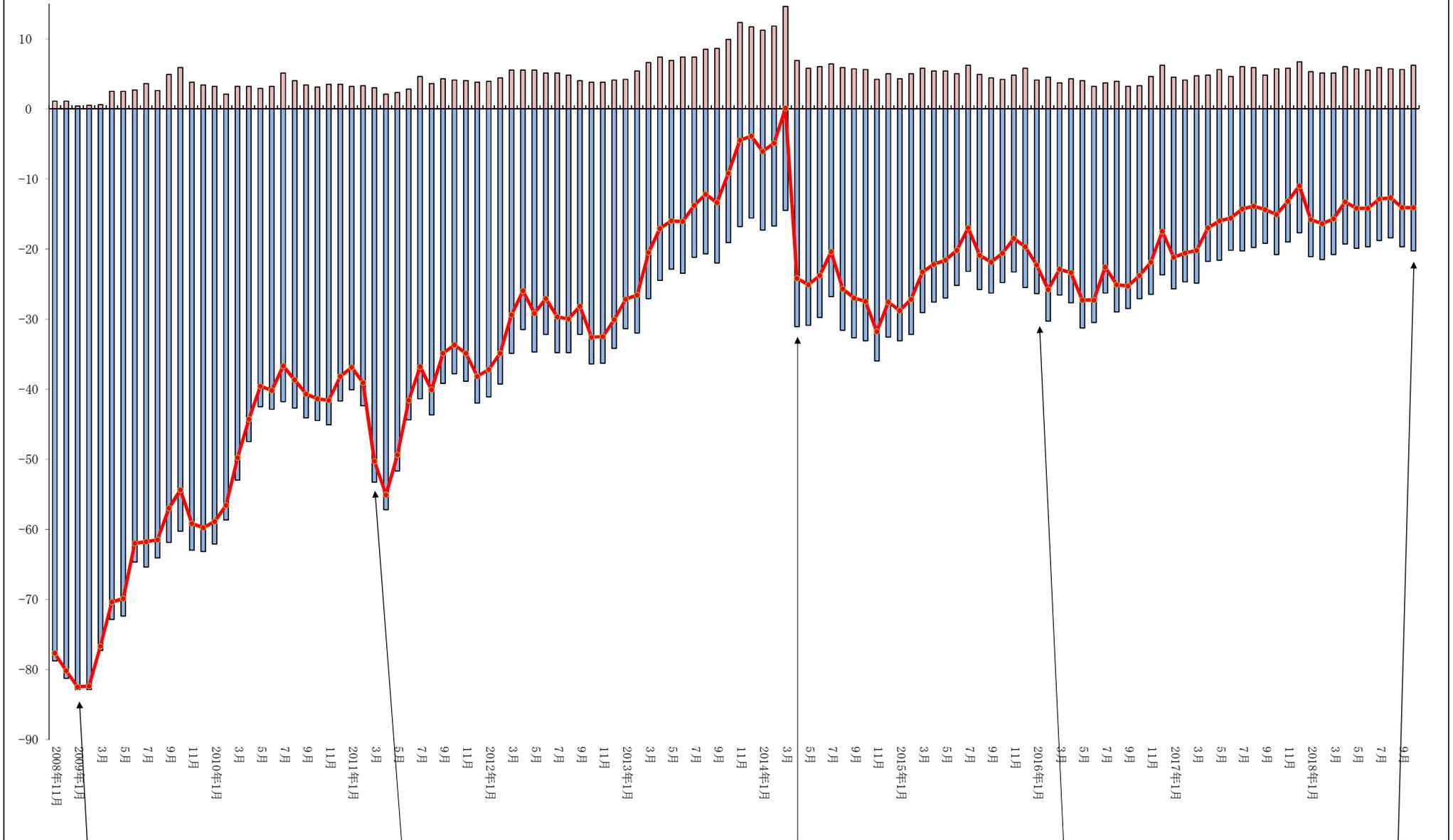
業種	小売業			サービス業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲ 23.8	▲ 23.1	0.7	▲ 20.8	▲ 21.4	▲ 0.6
採算	▲ 24.7	▲ 21.4	3.3	▲ 17.0	▲ 19.6	▲ 2.6
資金繰り	▲ 17.0	▲ 16.9	0.1	▲ 11.6	▲ 14.4	▲ 2.8
業況	▲ 25.1	▲ 25.6	▲ 0.5	▲ 21.3	▲ 20.7	0.6

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

# 小規模企業景気動向調査(月次)

## 産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化  
■好転  
●DI



09年1月  
調査開始以来最低数値  
(-82.5)記録

11年3月  
東日本大震災

14年4月  
消費税率8%に引上  
げ

16年2月16日  
日銀マイナス  
金利導入

18年/10月  
-14.1

## 小規模企業景気動向調査(10月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

・依然として観光を中心に入り込み客が増加しているため、台風等の影響による一時的な落ち込みはあるものの、観光事業に関わる事業所を中心に年々増収傾向にある。金融機関の貸出態度には変化は見られないが、積極的な貸出とは言えない。

(鹿児島県あまみ商工会)

・秋のイベントや行楽のシーズンということもあってか、年間各月で比較すると、現在は春の祭時期の次に全体に経済が順調に回る時期である

(岐阜県古川町商工会)

・金融機関によると、当地域の資金需要は高くはないが、消費税増税が明確化したことにより、今まで我慢していた設備の更新等の話が少しでてきた感があるとのこと。

(石川県宝達志水町商工会)

・紅葉で毎年観光客の入込も多い月のため、小売業、宿泊、飲食業などは、繁忙期対応をしている。金融機関の貸出については、特に問題はない。

(岐阜県高山西商工会)

・本年11月に着工する火力発電所建設工事関係者の入込が始まっており、本会三隅地区を中心に、建設業・建設資材販売業・食料品小売業・燃料小売業等において需要獲得に向けた動きが活発になっている。一部ではあるが、受注獲得した事業者もある。

(島根県石中央商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・9月下旬に噴火警戒レベル引下げにより通行止めが解除された志賀草津高原ルートだったが、わずか1週間後にレベル引上げで再び通行止め。紅葉シーズンの集客の大打撃となっている。

(長野県山ノ内町商工会)

・養殖業者の運転資金の問題が表面化しており、ホタテの貝毒などによる出荷制限が地元産業を圧迫している。

(宮城県本吉唐桑商工会)

・西日本豪雨災害から、各事業所ほぼ復旧され営業を再開し始めている。廃業されたところも数店あり、商店街は少し寂しい状態になっている。仮営業はされていても、店舗の修善はこれからという事業所もある。被災されてなくても、客数減少、売上減少的な間接被害が見受けられる。

(愛媛県吉田三間商工会)

・連休の週末に台風の直撃があり観光客の入込に影響があった。観光関連産業の売上が前年比マイナスとなった。24号による建物への被害や作物への塩害被害もある。

(鹿児島県屋久島町商工会)

・9月30日から10月1日掛けての台風24号の影響が全般的に出ている。建物被害や長引いた停電により、それぞれの業種で違った影響がでた。

(静岡県菊川市商工会)

・天候不順も有ったが水稻の価格も落込み無く、消費活動は例年並み。原油の高騰が続いており配送経費が採算性の悪化に影響している。

(福島県矢吹町商工会)

### 2. 製造業

#### <改善傾向を示すコメント>

・レジ用の刃物カッターのメーカーは、消費税が改正し、補助金の申請があるため、受注が増えている

(香川県三豊市商工会)

・自動車関連部品製造業では、ハイブリット車部品の受注量が増加し、繁忙の状態であるが人員不足による労働者への過負担が出ている。

(長野県根羽村商工会)

・機械製造業では補助金事業にて最先端の機械を導入し売上を伸ばしている事業所もある。

繊維製造業では展示会出展により取引先増加、それに対応する生産体制も補助金事業にて最先端の機械を導入し整い、今後の売上増加が期待できる事業所もある。

(香川県高松市中央商工会)

・食料品関連の製造業は、取引先が年始の需要に伴い、生産量をアップしていると思われるため忙しかった。燃料価格高騰の影響はあまりなし。

繊維工業関連の製造業は、11月からフレッシュズの生産で忙しくなる。11月から3月が1年で最も売れる時期である。

機械・金属関連の製造業は、地元の学校と高速道路関係の工事の仕事が続いているため、全体的に好転している。自社製品の受注も着実に増加している。

(岡山県作州津山商工会)

・衣料品製造業は、秋・冬物の売れ行きが厳しいながらも、10月から来年の夏物の製造に入り、強気に昨年並みの製造計画を立てている。

(宮城県高千穂町商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

- ・水産加工業関連の製造業は、依然地元の漁業者の不漁により、材料不足が続いている。県外から取り寄せているものもある。  
(和歌山県串本町商工会)
- ・電気機械、生産用機械など、ほとんどの製造業種で前年度を上回るなど好調となったが、原油価格上昇や米国の鉄鋼・アルミ等への関税引上などで利益面では下押し作用となるなど海外情勢の影響が出ているところも多い。今後の原材料のさらなる高騰に不安を持っている  
(兵庫県川西市商工会)
- ・食料品関連の製造業については、石油製品の値上がりの影響から仕入れ価格と経費の上昇につながり、利益を圧迫している状況である。  
(岐阜県本巣市商工会)
- ・洋菓子製造の店舗では、震災や農家の減少により乳製品の購入規制がかかり、輸入品依存になりつつあるため、それが仕入原価の上昇につながっている。  
(静岡県静岡市清水商工会)

## 3. 建設業

### <改善傾向を示すコメント>

- ・年末の納期へ向けた追い込み時期が始まる前ということがあり、年間で一番忙しい時期である。昨年よりも受注の特定企業への集中がすすんでおり一人親方は下請けでの仕事が増えている。下請の場合、その人工賃は「売上」に計上されるが、人工賃には消費税を上乗せしないという変な風潮があるらしい。現在8%の消費税も利益から支払っている状況で、これが10%の消費税になった場合、益々の利益の圧迫が進むと予想される。人工賃への正当な消費税加算を建設業協会や商工会からも呼びかけてほしいとのこと。  
(岐阜県古川町商工会)
- ・年末時期を迎えるにあたり、公共工事を受注している業者は忙しくなっているように伺える。  
(茨城県坂東市商工会)
- ・土木関連の建設業は秋口から公共事業が好調に転じ、収益を上げている、建築関連は雪が降る前の追い込みで受注はあるが、収益につながっているかどうかは時間をおいてみないとわからない。  
(新潟県小国町商工会)
- ・県内の状況が厳しいため県外の仕事を積極的に獲得している。  
(山梨県昭和町商工会)
- ・災害復旧のための仕事が官民多く発注されており、稼働率が高くなっている。  
(鹿児島県あまみ商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

- ・建設重機の修理業関連の建設業は、近年建機のIT化が進んでおり、軽微な修理以外は立ち入れない領域となってきており、厳しさが増している。  
(兵庫県太子町商工会)
- ・災害復旧関係の仕事が多く、受注状況も良いが、キャパを超えており、逆にチャンスロスとなっている。よって、近隣市町よりの業者の流入が見受けられる。  
(愛媛県吉田三間商工会)
- ・状況は良いが、消費税増税前後の関係を心配するようになっている。  
(栃木県にのみや商工会)
- ・建築関連では今月に入り改修・増築の需要が急伸しており、全体としては活況であるが消費税率の引き上げ前の駆け込み需要ではないかと心配する意見が多い。また、人手不足も深刻で顧客を長期間待たせてしまっている状況を改善できず、一部の消費者からは不満の声も出始めている。  
(千葉県南房総市内房商工会)
- ・土木関連は災害復旧工事で手一杯であり、人的に余裕がない状態である。まだ、入札物件も数十本工事を残しており工期延長が見込めないと各業者とも無理である。冬に向かい除雪対応もあり、ますます人手が不足していく。  
(京都府京丹後市商工会)
- ・業況は順調に推移し売上資金繰りとも好転しているものの、慢性化する人手不足により受注段階で断っている。対策として設備投資を進めているが、重機メーカーの生産も遅れており、納期に1年かかるものがある。  
(秋田県由利本荘市商工会)
- ・建設業界全体に人手不足感が強い。自社で若手従業員を育成しても、すぐに他社に転職する恐れがあり、積極的な募集を躊躇することもある模様。  
(静岡県富士市商工会)

## 4. 小売業

### <改善傾向を示すコメント>

- ・衣料関連の小売業は例年より気温が低い日が多かったため、冬物の出足は良い状況になっている。  
(滋賀県大津北商工会)
- ・季節の変わり目もあり、食料品・衣料品の景気が良い。  
(宮崎県佐土原町商工会)
- ・行楽シーズンでの特需にスーパーやコンビニなどでは飲料品や惣菜などの売上が増加していることから、引き続き来月への期待感が増大している。依然として百貨店は苦戦を強いられている。ドラッグストアでは、化粧品や日用品のほか、食料品などの売上が好調で前年を上回る売上となったところが多い。  
(兵庫県川西市商工会)

### ＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・平成31年10月の消費税率10%UPで景気悪化が心配。軽減税率が良くわからない。  
(宮城県遠田商工会)
- ・引き続きガソリンスタンドなどの石油類取り扱いがある事業者に関しては原油価格の高騰のあおりを受け仕入れ価格が急騰しており、採算の悪化が続いている  
(福岡県香春町商工会)
- ・台風等によるイベントの中止や法事等の予約キャンセルが相次ぎ、飲食業等は売上が大きく落ち込んでいる事業者がいる。  
(徳島県東みよし町商工会)
- ・食料品小売業では特産品の桜えびが不漁という報道の影響もあり、顧客の動きが少なく、予約や問い合わせ数が減少した。  
(静岡県静岡市清水商工会)
- ・食料品の小売業(米)は、不作により、集荷量が減少している。  
また、農業機械の高性能高価格化が経営に影響しており、支払いが後回しになるケースが出てきている他、離農も進んでいる状況である。  
(秋田県かづの商工会)
- ・小売では、運送費用の上昇、自然災害、人手不足などを受けて、食品が高値推移。地域社会の高齢者も地域の消費減退に影響。食品小売業では、調理済食品の価格を上げる例も現れている。また、レジ袋有料化も進行。  
(静岡県富士市商工会)

## 5. サービス業

### ＜改善傾向を示すコメント＞

- ・保険関連のサービス業はここ数年自然災害が我々の地域でも多いので新規や保険金額の増額契約が増加して  
(滋賀県大津北商工会)
- ・夏場は天候不順により観光関連施設及び宿泊業の客足は昨年より落ち込んでいたが、当月は前年を上回るまでに回復した。  
(三重県みえ熊野古道商工会)
- ・飲食関係のサービス業については、新規で開業される方も多く、創業の相談も多い。一方で、長年地元で営業されている高齢の事業主も多く、事業承継の準備が急務である。  
(岐阜県本巣市商工会)
- ・理美容関係のサービス業は、新規顧客の獲得の為、新サービスを提供するために、設備投資を行っている。  
(石川県川北町商工会)

### ＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・旅館業より顧客が自然災害等の影響から外出(旅行)を控えていると感じるとの声あり。  
(富山県庄川町商工会)
- ・村内来客数は例年通り多くお見えになるが、日帰りでお帰られるお客様が多く、宿泊及び飲食店の売り上げに繋がられず、一部の大型宿泊施設を除き年々売上が減少している。  
(福島県北塩原村商工会)
- ・理容業は替え刃やシャンプーなど仕入れ値が上昇している。  
(山口県岩国西商工会)
- ・飲食関連のサービス業は、交流人口の減少により、売上が減少している。また、地区内の宴会等の利用客も減少傾向である。  
(長崎県松浦市福鷹商工会)